

第3章

資料

1 専門用語集

(1) LD、ADHD、高機能自閉症等に関する用語

専門用語	意味
インシデント・プロセス法	<p>インシデント・プロセスとは「ある小さな出来事」のことをいう。事例研究法（ケース・スタディ）の一種である。手順として①発表者による事例提供（5分程度）、②事例に関する質疑応答（客観的事実に基づいて行う）、③問題点を絞り込むための協議（グループごと）、④問題点への対応策の協議（グループごと）、⑤グループごとに出された対応策の検討・決定のように進める。</p> <p>事例提供は事実のみを簡潔に行う。参加者からの質問は特定の参加者の質問に偏らないよう司会者が配慮し、質問についての応答は推測を避け、事実のみについて答える。質疑応答の中で共有された情報を基に対応策を出し合い、その優先順位を決定する。</p>
DSM-IV	<p>DSM-IVとは、アメリカ精神医学会（APA）の『精神疾患の診断・統計マニュアル』の第4版のこと。各精神疾患の診断基準が示され、アメリカ国内のみならず世界的に非常に広く用いられている。</p>
グループエンカウンター	<p>「エンカウンター」という用語は「出会い」という意味。個人の心理的成長、個人間のコミュニケーションおよび対人関係の発展と改善を目的とする。構成法と非構成法の2つのタイプがある。前者は構成的グループ・エンカウンター、構成的エンカウンター・グループ等、後者はベーシック・エンカウンター・グループ、非構成的エンカウンター・グループ等と呼ばれている。</p> <p>構成的グループ・エンカウンターでは、自己理解、他者理解、自己受容、信頼体験、感受性の促進、自己主張等を目指す多くのエクササイズが開発されている。</p>
言語性LD	<p>言語性情報の学習能力に問題を持つものである。言語性学習能力は読み、書き、算数のアカデミックスキルに関する能力を包括している。言語性学習障害は、非言語性学習能力が高い傾向にあり、早期からの社会自立を目標とした教育が望まれる。</p>
非言語性LD	<p>空間情報、時間などの非言語的情報の学習に問題を持つものである。非言語性学習は出生と同時に始まり、乳児は感覚器官よりインプットされた刺激による非言語性学習を重ね、人との接触により対人認知の発達が進み、非言語的情報の理解は言語の意味理解の基礎となる。時間、空間認知、関係判断、位置関係などの情報の統合が影響している。</p>
行為障害	<p>DSMの定義によれば「他者の基本的権利を侵害するような、年齢相応の社会的規範や規則を侵害することが反復し持続する行動様式」とされる。人や物に対する攻撃性、持ち物の破壊、嘘をつくことや窃盗など重大な規則違反が見られる状態で、そのことが臨床的に著しい社会的、学業的、又は職業的機能の障害を引き起こしている場合をいう。</p>
構造化	<p>構造化とは、指導及び学習を組織化、体系化することである。</p> <p>場所や場面の構造化、スケジュールや時間の構造化、活動内容や順序の構造化があげられる。</p>
自尊心	<p>その個人が自分自身について感じている、自分についての価値評価とそれに伴う感情を表す言葉である。日常生活や対人関係を適切に営む上では、自尊心が現実的で安定したものであることが重要である。</p> <p>発達障害のある子どもは、周囲からその行動や心理が理解されずに否定的な評価を受けることがあるが、このようなケースでは自尊感情が低下している例が少なくない。</p>

情報処理（認知）	人間が見たり、聞いたり、触ったりして情報を取り入れるとき、脳の中でそれらの情報を認知して何らかの反応をするそのプロセスをいう。
ストレッサー	ストレスを引き起こす外部からの刺激のことをいい、その内容は、人により様々である。 ストレッサーによって引き起こされるストレスには気候の変化、仕事や生活の条件、外傷、中毒等によるストレスや、新しい場面への適応、人間関係、自信喪失などの社会的ストレスがある。
継次処理様式	情報を一つずつ受け取り、時間的な順序に沿って処理する様式。 順序立てて理解することが比較的得意な方法とも言える。
同時処理様式	複数の情報を受け取り、それらの関連に着目して、全体的に処理する様式。言葉での指導よりも、絵カードやシンボル表示で理解することが比較的得意な方法とも言える。
中枢神経系	神経のうち、機能上の中枢部。脳と脊髄によって構成される神経器官。行動・思考などをつかさどる。
二次障害	障害に由来する本来の症状が原因で環境との不適応を起こしたために生じた様々な症状をいう。家庭環境、学校での状況など子どもをとりまく様々なものがある。
発達障害	中枢神経系の高次機能の障害が発達期に生じているものをいう。基本的には、その障害は非進行性であり、合併症がない限り、障害自体が悪化していくことはない。幼児期、小児期、青年期などの発達期に現れてくる全ての障害である。この障害は長期にわたって持続し、継続的に援助を必要とする。 なお、「発達障害者支援法」（平成16年12月3日成立）では、「自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害その他これに類する脳機能障害であってその症状が通常低年齢において発現するものとして政令で定めるものをいう」と、定義された。
不安障害	幻覚や妄想など不安が質、量ともに健康な人と異なる状態で、社会生活を送ることが困難になっている場合を指す。パニック発作を伴い、めまい、動悸、息切れなどの体の症状を伴うことが多い。不安障害の治療には、薬物療法と心理療法が組み合わせて用いられる。
PRSテスト	LD児診断のためのスクリーニングテスト。聴覚的理解と記憶、話しことば、オリエンテーション、運動能力、社会行動の5領域24項目で構成される。5段階尺度で子どもの実態を把握している学級担任が実施でき、所要時間は一人あたり5～10分。
リソースルーム	米国の障害児教育において、通常学級に在籍する障害をもつ子どもが特別なサービスを受けることを目的として一日の授業うち何時間か通う教室のことをいう。その方法論は日本の「通級指導」のモデルとも言える。
ロールプレイング	サイコドラマの技法の一つである。さまざまな役割を演じることであり、自発性や創造性を駆使しながら実験的・探索的に行動することである。たとえば、学校の対人トラブルなどでも、ロールプレイングを用いて、場面の読みとり、他者の感情への気づき、問題解決の方法を学ばせることも可能である。

(2) 「個別の教育支援計画」に関する用語

専門用語	意味
アセスメント	事前評価、初期評価。物事を査定し、評価すること。
ADL	日常生活動作あるいは日常生活活動と訳される。
教育的ニーズ	児童生徒の側から見た教育的対応に関する必要性。「21世紀の特殊教育の在り方について（最終報告）」において「特別な教育的ニーズ」として示され、従来の特殊教育の考え方を転換するものである。
グループホーム	地域社会の中にある住宅（集合住宅や一戸建て等）において、数人の障害者が共同で生活し、世話人などがその生活に必要な援助を行い、自立した生活を実現していく場。
支援会議（ケース会議）	「個別の教育支援計画」策定に向け、支援している対象者への支援方針等を検討するために関係者が集まって開く会議。
広域特別支援連絡協議会	各学校において、LD、ADHD、高機能自閉症等の児童生徒への教育的支援が有効に行えるよう教育、福祉、医療、労働、専門機関、親の会等の関係機関の代表者により協議会を行い、関係機関の連携協力を図るもの。
校内委員会	特別な支援を要する児童生徒やその保護者に対して、適切な教育や支援を行うことを目的として各学校に設置されている委員会のこと。 ※「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」協力者会議 平成15年
個別移行支援計画	職業教育や進路指導の充実を図るとともに、生徒一人一人の社会参加・自立を支援するため、学校と労働機関、民間企業等が連携・協力して作成する計画のこと。
個別の教育支援計画	教育、保健、福祉、労働等の連携による、乳幼児期から学校卒業までの一貫した支援のための教育計画。児童生徒の一人一人の特別な教育ニーズを把握し、関係機関の連携による適切な教育的支援を効果的に行うための教育上の指導や支援を内容とする。 ※「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」協力者会議 平成15年
個別の支援計画	障害者基本計画で示された、障害のある子どもの発達段階に応じて、関係機関が適切な役割分担の下に、一人一人のニーズに応じて適切な支援を行う計画。「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」で示された「個別の教育支援計画」は、これに含まれる。
個別の指導計画	現行の学習指導要領で、盲・ろう・養護学校における自立活動の指導と重複障害者の指導に当たって作成が義務づけられた指導計画。児童生徒一人一人の障害の状態等に応じたきめ細かな指導が行えるよう、学校における教育課程や指導計画、当該児童生徒の個別の教育支援計画等を踏まえて、より具体的に児童生徒一人一人の教育的ニーズに対応して、指導目標や指導内容・方法等を盛り込んだもの。小・中学校における障害のある児童生徒についても、必要に応じて作成することが望まれます。
小規模作業所	障害者の福祉的就労の形態の一種。企業からの受注作業や自主製品の作製作業を行い、地域の中で社会的活動に参加するために設けられた場。
重点施策実施5か年計画（新障害者プラン）	新障害者基本計画の前期重点実施計画。教育に関して、一貫した相談支援体制の整備、専門機関の機能の充実と多様化、指導力の向上と研究の推進、施設のバリアフリー化の推進があげられている。
社会資源	社会の中で活用できる諸サービス。
新障害者基本計画	障害者基本法で策定を義務づけられた法定計画で期間は平成15年度から10年間とするもの。

自立活動	個々の幼児児童生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度、習慣等を養うことなどを目的に、盲学校、聾学校及び養護学校において特別に設けられた領域。平成11年3月に改訂された「盲学校、聾学校及び養護学校学習指導要領」（幼稚部は「教育要領」）により示された。
ソーシャルスキル	言葉や表情、身振り等を手がかりにすること（対人的行動）や、電話をかける、バスに乗るなど、社会的に必要なこと（社会的行動）をいう。ソーシャルスキルが十分獲得されていないと、仲間から拒否され孤立したり、円滑な社会生活が難しくなったりすると言われている。
通級指導教室	平成5年度から制度化された障害児教育の新しい教育形態。主として軽度の障害を対象にしている。小・中学校の通常の学級に在籍したまま、児童生徒が自立を目指し、障害に基づく種々の困難を改善・克服するために、その児童生徒にとって必要な事項について、指導をする場として位置づけられている。年間35単位時間から105時間までを標準とし、これに加えて、特に必要があるときは、各教科の内容を補充するための指導を、おおむね合計年間280単位時間以内で行うことができる。
特別支援学校（仮称）	障害の重複化や多様化をふまえ障害種にとらわれない学校のこと。地域の特別支援教育のセンター的役割を担う。視覚障害、聴覚障害、知的障害等、重複の障害の各々に対応して専門の教育部門を有する学校を設けることを可能にしているが、従来のように特定の教育部門のみを有する学校を設けることも可能としている。 ※「今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）」協力者会議 平成15年

2 関係機関一覧

盲・ろう・養護学校

学 校 名	所 在 地	電話番号
県立盲学校	佐賀市天祐一丁目5-29	0952-23-4672
県立ろう学校	佐賀市鍋島町大字森田321番地	0952-30-5368
県立金立養護学校	佐賀市金立町大字金立2339番地2	0952-98-1135
県立大和養護学校	大和町大字久留間3353番地	0952-62-1221
県立中原養護学校	みやき町大字原古賀7262番地1	0942-94-3575
県立伊万里養護学校	伊万里市大坪町丙1427番地	0955-23-8554
県立北部養護学校	唐津市山本788番地12	0955-78-2394
佐賀大学文化教育学部附属養護学校	佐賀市本庄町大字正里46番地2	0952-29-5045

教育機関等

機 関 名	所 在 地	電話番号
佐賀県教育センター	大和町大字川上字西山	0952-62-5211

医療機関

機関名	所 在 地	電話番号
独立行政法人国立病院機構肥前精神医療センター	東脊振村大字三津160	0952-52-3231
佐賀大学医学部附属病院	佐賀市鍋島5丁目1-1	0952-31-6511
県立病院好生館	佐賀市水ヶ江1丁目12-9	0952-24-2171
佐賀整肢学園こども発達医療センター	佐賀市金立町大字金立2215-27	0952-98-2211
からつ医療福祉センター	唐津市双水2806	0955-70-3580

発達障害の専門機関

機関名	所 在 地	電話番号
佐賀県自閉症・発達障害支援センター「結」	鳥栖市江島町字西谷3300-1	0942-81-5728
それいゆ相談センター	佐賀市鍋島1-9-2	0952-36-8751

相談窓口

機 関 名	所 在 地	電話番号
佐賀県中央児童相談所	佐賀市天祐1-8-5	0952-26-1212
中央児童相談所唐津分室	唐津市坊主町433-1	0955-73-1141
佐賀県精神保健福祉センター	小城市小城町178-9	0952-73-5060
中部福祉事務所	佐賀市八丁畷町8-1	0952-31-3585
北部福祉事務所	唐津市坊主町433-1	0955-73-1131
西部福祉事務所	武雄市武雄町昭和265	0954-23-3174
佐賀市福祉事務所	佐賀市栄町1-1	0952-24-3151
唐津市福祉事務所	唐津市西城内1-1	0955-72-9151
鳥栖市社会福祉課	鳥栖市宿町1118	0942-85-3554
鳥栖市子ども育成課	鳥栖市宿町1118	0942-85-3550
多久市福祉事務所	多久市北多久町小侍7-1	0952-75-6118
伊万里市福祉事務所	伊万里市立花町1355-1	0955-23-2111
武雄市福祉事務所	武雄市武雄町昭和1-1	0954-23-9235
鹿島市福祉事務所	鹿島市納富分2643-1	0954-63-2119

小城市福祉事務所	小城市三日月町長神田2312- 2	0952-73-8825
佐賀中部保健所	佐賀市八丁畷町1-20	0952-30-2183
鳥栖保健所	鳥栖市元町1234-1	0942-83-2161
唐津保健所	唐津市大名小路3-1	0955-73-4185
伊万里保健所	伊万里市新天町坂口122-4	0955-23-2101
杵藤保健所	武雄市武雄町昭和265	0954-22-2104
身体障害者更生相談所	佐賀市天祐1-8-5	0952-26-1212
知的障害者更生相談所	佐賀市天祐1-8-5	0952-26-1212
独立行政法人高齢・障害者雇用支援機構佐賀障害者職業センター 【障害者110番】	佐賀市天祐1-8-5 佐賀市天祐1-8-5	0952-24-8030 0952-24-8110

障害児（者）地域療育等支援事業

施設名	所在地	電話番号
知的障害児施設県立春日園	大和町尼寺1231-1	0952-62-2131
知的障害児施設くろかみ学園	山内町大野7206-1	0954-45-2156
重症心身障害児施設若楠療育園	鳥栖市今町岸田671-2	0942-83-1121
重症心身障害児施設佐賀整肢学園こども発達医療センターたんぼ園	佐賀市金立町金立2215-27	0952-98-2211
知的障害者更生施設からつ学園	唐津市佐志石ヶ元2107-2	0955-72-1200

障害者生活支援センター

施設名	所在地	電話番号
障害者生活支援センター瑠璃光苑	伊万里市二里町大里乙402-2	0955-23-2909
障害者生活支援センター長光園	佐賀市兵庫南2丁目16-39	0952-27-1060
久里双水園障害者生活支援センター	唐津市双水2806	0955-70-3580

障害者就業・生活支援センター

施設名	所在地	電話番号
たちばな会障害者就業・生活支援センター	塩田町大字谷所甲1388番地	0954-66-9093

肢体不自由者更生施設

施設名	所在地	電話番号
県立希望の家	みやき町原古賀7449	0942-94-2788

身体障害者授産施設

施設名	所在地	電話番号
県立希望の家	みやき町原古賀7449	0942-94-2788
佐賀春光園	みやき町原古賀6994	0942-94-2144
サンウッド作業所	太良町大浦乙1840-2	0954-68-3211
佐賀ライトハウス六星館	佐賀市天神1-4-16	0952-29-6621
障害者授産多久作業所	多久市東多久町別府4319-3	0952-76-5026
障害者授産伊万里作業所	伊万里市大坪町丙1215-1	0955-22-2985

身体障害者療護施設

施設名	所在地	電話番号
県立希望の家	みやき町原古賀7449	0942-94-2788
長光園	佐賀市兵庫南2-16-39	0952-29-5284
鹿島療育園	鹿島市山浦甲2481-3	0954-62-2780

瑠璃光苑	伊万里市二里町大里乙403-1	0955-23-2767
佐賀整肢学園オークス	佐賀市金立町金立168-1	0952-98-3770
佐賀整肢学園からつ医療福祉センター・久里双水園	唐津市双水2806	0955-70-3580

肢体不自由児施設

施設名	所在地	電話番号
佐賀整肢学園こども発達医療センターひまわり園	佐賀市金立町金立2215-27	0952-98-2211
佐賀整肢学園こども発達医療センターひよこ教室	佐賀市金立町金立2215-27	0952-98-2211

重症心身障害児施設

施設名	所在地	電話番号
国立病院機構東佐賀病院	みやき町原古賀7324	0942-94-2048
国立病院機構肥前精神医療センター	東脊振村三津160	0952-52-3231
若楠療育園	鳥栖市弥生が丘2-134	0942-83-1121
佐賀整肢学園こども発達医療センターたんぽぽ園	佐賀市金立町金立2215-27	0952-98-2211
佐賀整肢学園からつ医療福祉センターアルトン	唐津市双水2806	0955-70-3580

知的障害児施設

施設名	所在地	電話番号
春日園	大和町尼寺1231-1	0952-62-2131
くろかみ学園	山内町大野7206-1	0954-45-2156

知的障害児通園施設

施設名	所在地	電話番号
くすのみ園	佐賀市天祐1-8-5	0952-26-1212
佐賀整肢学園からつ医療福祉センターまつぼっくり教室	唐津市双水2806	0955-70-3580

知的障害者更生施設

施設名	所在地	電話番号
九千部学園	鳥栖市原古賀1307	0942-82-3424
富士学園	富士町内野209-8	0952-63-0107
佐賀コロニー	大和町川上3113	0952-62-1212
はがくれ学園	佐賀市久保泉町川久保4466-1	0952-98-2575
たちばな学園	塩田町谷所甲1388	0954-66-5410
あすなろの里	西有田町山谷甲1230-1	0955-46-4770
からつ学園	唐津市佐志石ヶ元2107-2	0955-72-1200
脊振学園	脊振村服巻5065-122	0952-59-2155
若木園	鳥栖市山浦町1895	0942-84-8785
すみよしの里	山内町大野7206-1	0954-45-2156
いとし子の家	大和町久池井1407-11	0952-62-1611
めぐみ園	東与賀町飯盛1584	0952-34-7722
朝日山学園	鳥栖市江島町西谷3300-1	0942-84-3266

知的障害者授産施設

施設名	所在地	電話番号
佐賀コロニー	大和町川上3113	0952-62-1212
青葉園	鳥栖市弥生が丘2-135	0942-84-0090

多良岳作業所	太良町大字大浦乙1410-2	0954-68-3311
ワークピア天山	小城市小城町晴気1787-2	0952-72-6238
太陽社	唐津市久里2073-2	0955-78-2520
かささぎの里	佐賀市金立町薬師丸1800-1	0952-98-1915
白石作業所	白石町福吉四本黒木1815-1	0952-84-3511
いまりの里	伊万里市大坪町丙1158-1	0955-22-9044
ワークス山王	大和町久留間3032	0952-51-2718
かがやきの丘	塩田町谷所字小城甲1364	0954-66-9064
いぶき村	武雄市橘町芦原5683-15	0954-22-4770
このめの里	嬉野町下宿甲2094-15	0954-42-1380
鹿島福祉作業所	鹿島市浜町甲3829-9	0954-63-5283
響	佐賀市久保泉町川久保832	0952-98-3268
椿作業所	伊万里市黒川町小黒川拝川697-1	0955-27-2750
みのり福祉作業所	大和町東山田3200-215	0952-62-3991
まごころ授産所	川副町鹿江1752-5	0952-45-2411
レインボーハウス	佐賀市水ヶ江2-4-10	0952-24-1437

知的障害者福祉工場

施設名	所在地	電話番号
山王福祉工場	大和町久留間3037-4	0952-62-8981

知的障害者通勤寮

施設名	所在地	電話番号
九千部寮	鳥栖市原古賀1307-1	0942-82-2214
金立寮	佐賀市金立町金立1945	0952-98-2694

障害者（児）福祉関係団体・親の会

団体名	所在地	電話番号
佐賀県身体障害者団体連合会	佐賀市天祐1-8-5	0952-29-3825
佐賀県障害者社会参加推進センター	佐賀市天祐1-8-5	0952-29-1226
佐賀県視覚障害者団体連合会	佐賀市天神1-4-16	0952-29-7326
佐賀県聴覚障害者協会	佐賀市天祐1-8-5	0952-22-7307
佐賀県手をつなぐ育成会	佐賀市天祐1-8-5	0952-29-7342
佐賀県肢体不自由児協会	佐賀市鬼丸町7-18	0952-23-2145
佐賀県肢体不自由児・者父母の会連合会	佐賀市高木瀬東1-5-19	0952-32-7237
佐賀県知的障害者福祉協会	富士町内野209-8	0952-64-2131
佐賀県障害者スポーツ協会	佐賀市天祐1-8-5	0952-29-1226
佐賀・筑後地区LD・ADHDとその周辺児・者親の会「夢気球」	鳥栖市田代大官町848-2	0942-82-2921
「元気塾」親の会（佐賀県LDとその周辺児・者の会）	佐賀市駅前中央1-8-32 i スクエアビル3Fレターケース76	0952-24-7358
日本自閉症協会佐賀県支部	佐賀市高木瀬東3-6-3	0952-33-9083

公共機関ホームページ

機関名	ホームページアドレス
佐賀県	http://www.pref.saga.lg.jp/
佐賀県教育委員会	http://www.pref.saga.lg.jp/at-contents/kyouiku/kyouiku_index.htm
佐賀県教育センター	http://www.saga-ed.jp/
文部科学省	http://www.mext.go.jp/

3 参考文献一覧

引用・参考文献

書名	著者／出版社
今後の特別支援教育の在り方について（最終報告）	文部科学省特別支援教育の在り方に関する調査研究協力者会議
小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への教育的支援体制の整備のためのガイドライン	文部科学省
学習障害（LD）への教育的支援 －全国モデル事業の実際－	文部科学省／ぎょうせい
学習障害（LD）への教育的支援 －続・全国モデル事業の実際－	文部科学省／ぎょうせい
盲・聾・養護学校における「個別の教育支援計画」について	全国特殊学校長会 ／ジアース教育新社
個別の教育支援計画に基づく個別移行支援計画の展開	宮崎英憲／ジアース教育新社
ADHD及びその周辺の子どもたち	尾崎洋一郎 他／同成社
自閉症児「言語認知障害児」の発語プログラム －無発語からの33ステップ－	石井 聖／学苑社
つまずきのある子の学習支援と学級経営 －通常の学級におけるLD・ADHD・高機能自閉症の指導－	吉田 昌義 他 ／東洋館出版社
教育の課題にチャレンジ4 LD・ADHD特別支援マニュアル －通常クラスでの配慮と指導－	森 孝一／明治図書
「気になる子ども」の配慮と支援 学習障害（LD）・ADHD・高機能自閉症児の正しい理解と対応方法	新井 英靖 他 ／中央法規出版
LD・ADHD特別支援マニュアル －通常クラスでの配慮と指導－	森 孝一／明治図書
LD・ADHD・高機能自閉症 就学&学習支援	森 孝一／明治図書
石隈・田村式援助シートによるチーム援助入門 （学校心理学・実践編）	石隈利紀・田村節子 ／図書文化
月刊 教育と医学	慶應義塾大学出版会

引用・参考文献

書名	著者／出版社	発行年月
盲・聾・養護学校における「個別の教育支援計画」	全国特殊学校長会 ／ジアース教育新社	平成16年 6月
ADHD及びその周辺の子どもたち －特性に対する対応を考える－	尾崎洋一郎 他／同成社	平成13年 3月
ADHDサポートガイド	森 孝一／明治図書	平成14年
ADHDの明日に向かって	田中康雄／星和書店	平成13年
ADHD注意欠陥・多動性障害 親と専門家のためのガイドブック	アリソン・マンデン他 ／東京書籍	平成12年
落ち着きのない子どもたち 〈多動症候群への理解と対応〉	石崎朝世 他／すずき出版	平成7年
きみもきつとうまくいく 子どものためのADHDワークブック	キャスリーン・ナドー 他 ／東京書籍	平成13年
こうすればうまくいくADHDをもつ子の学校生活	リンダ・J・フィフナー ／中央法規出版	平成12年
友だちみんなの中でADHDを育てる 母親と教師の交換日記	松下佐智子・鈴木奈実 ／現代企画室	平成14年
のび太ジャイアン症候群 いじめっ子、いじめられ子は同じ心の病が原因だった	司馬理英子／主婦の友社	平成9年
のび太ジャイアン症候群2 ADHDこれで子どもが変わる	司馬理英子／主婦の友社	平成11年
のび太ジャイアン症候群3 ADHD子どもが輝く親と教師の接し方	司馬理英子／主婦の友社	平成13年
のび太ジャイアン症候群4 ADHDとアスペルガー症候群	司馬理英子／主婦の友社	平成15年 10月
ブレーキをかけよう2 ADHDとのつきあい方 中学・高校生の場合	パトリシア・O・クイン ／えじそんくらぶ	平成11年
へんてこな贈り物 誤解されやすいあなたに 注意欠陥・多動性障害とのつきあい方	エドワード・M・ハロウエル、ジョン・J・レイティー ／インターメディカル	平成10年
ぼくたちのサポーターになって！！1 注意欠陥／多動性障害を理解するための手引き	田中康雄、高山恵子 ／えじそんくらぶ	平成11年
ぼくたちのサポーターになって！！2 ADHD 薬にできること・できないこと	田中康雄、高山恵子 ／えじそんくらぶ	平成13年
「わがまま」といわれる子どもたち	湯汲英史他／すずき出版	平成12年
自閉症教育実践ガイドブック 今の充実と明日への展望	国立特殊教育総合研究所 ／ジアース教育新社	平成16年
アスペルガー症候群 －親と専門家のために－	トニー・アトウッド ／東京書籍	平成11年
自閉症スペクトル 親と専門家のためのガイドブック	ローナ・ウイング／東京書籍	平成10年
アスペルガー的人生	リアン・ホリデー・ウィリー ／東京書籍	平成14年

教えて私の「脳みそ」のかたち	ニキ・リンコ 他／花風社	平成14年
高機能自閉症・アスペルガー症候群入門 正しい理解と対応のために	内山登紀夫 他／中央法規	平成14年
親と教師のための自閉症講座 通常の学校で勉強するために	R. ジョーダン 他 ／ナカニシヤ出版	平成12年
ぼくのアスペルガー症候群 もっと知ってよぼくらのことを	ケネス・ホール／東京書籍	平成13年
平行線 ーある自閉症者の青年期の回想ー	森口奈緒美／ブレイン出版	平成14年
変光星 ーある自閉症者の少女期の回想ー	森口奈緒美／飛鳥新社	平成8年
光とともに 自閉症児を抱えて	戸部けいこ／秋田書店	平成13年～
他の誰かになりたかった	藤家寛子／花風社	平成16年 4月
自閉っ子、こういう風にできてます！	ニキ・リンコ、藤家寛子 ／花風社	平成16年 11月
LD・ADHD 気になる子どもの理解と援助	丸山美和子／かもがわ出版	平成14年 10月
LDとは 症状・原因・診断理解のために 〈LD教育選書1〉	上野一彦 他／学習研究社	平成8年 10月
LDとは何か 〈わかるLDシリーズ〉	上野一彦 他 ／日本文化科学社	平成8年 2月
学習障害ってなに？	高野清純 他／黎明書房	平成10年 8月
教師のためのLD・ADHD教育支援マニュアル	エドナ・D. コープランド 他／明石書店	平成16年 12月
日本LD学会 LD・ADHD等関連用語集	日本LD学会 ／日本文化科学社	平成16年 8月
LD、ADHDなどの子どもへの場面別サポートガイド 通常の学級の先生のための特別支援教育	高橋あつ子編／ほんの森出版	平成16年 5月
高機能自閉症、ADHD、LDの支援と指導計画 ー特別支援教育の手引きー	東京コーディネーター研究会 ／ジアース教育新社	平成16年
LD・ADHDが輝く授業づくり	見晴台学園研究センター ／クリエイツかもがわ	平成16年 3月
学習障害（LD）注意欠陥多動性障害（ADHD）の事例集	鈴木陽子／星の環会	平成12年 9月
LD、ADHD、高機能自閉症等 気になる子への支援 完全Q&A	石塚謙二 他／小学館	平成17年 1月
学習障害（LD）及びその周辺の子どもたち ー特性に対する対応を考えるー	尾崎洋一郎 他／同成社	平成12年 4月
小・中学校におけるLD（学習障害）、ADHD（注意欠陥／ 多動性障害）、高機能自閉症の児童生徒への教育支援体制の 整備のためのガイドライン（試案）	文部科学省／東洋館	平成16年 4月

作成協力者

(五十音順、敬称略、職名は平成17年3月現在)

特別支援教育検討委員会

伊藤博教	大和養護学校長
井上洋	佐賀県教育庁学校教育課長
今泉弘	多久市教育委員会学校教育課長
小笠原玲子	特殊学級設置学校長会会長（塩田小学校長）
香月英二	ろう学校長
北島清澄	特殊学級設置中学校長（北山中学校長）
久保和彦	三神教育事務所指導主任
新開裕身	北部養護学校長
野口盛	盲学校長
淵正幸	佐賀県難聴言語研究会会長（嬉野小学校長）
◎松林智空	金立養護学校長
山口誠悟	中原養護学校長
山口俊	伊万里養護学校長
山口大樹	佐賀県小学校長会会長（勸興小学校長）

※ ◎は、座長

特別支援教育検討委員会ワーキンググループ

北島澄子	ろう学校教諭
城戸幸一	中原養護学校教諭
隈本京子	佐賀市立高木瀬小学校教諭
瀬尾裕子	大和養護学校教諭
田中真由美	唐津市立第五中学校教諭
筑波法美	金立養護学校教諭
中島博之	太良町立大浦中学校教諭
中路徹	伊万里養護学校教諭
中村絹子	中原町立中原中学校教諭
◎久野隆裕	教育センター指導主事
水町喜代	佐賀市立勸興小学校教諭
牟田口睦子	北部養護学校教諭
本村直美	鳥栖市立鳥栖小学校教諭
山下ゆかり	伊万里市立大坪小学校教諭
山田英美	盲学校教諭
◎吉田達生	中原養護学校教頭

※ ◎は、チーフ ○は、サブチーフ

佐賀県教育庁学校教育課特別支援教育担当 係長 砂後典之、指導主事 梶原紳一、岡 康德、松島正和
--



特別な教育的支援が必要な
子どものためのガイドブック

発行日 平成17年3月31日
発行者 佐賀県教育委員会
編集 佐賀県教育庁学校教育課
TEL 0952-25-7227



古紙配合率100%再生紙を使用しています